

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problems Mailbox.**



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ユーザ属性に合わせたコンテンツを送信し、送信したコンテンツに対する注文をユーザから受信して注文を処理する、情報提供者に備えられる装置であって、

ユーザ属性データベースを備えたサーバ用データベースと、コンテンツデータベースの送信用コンテンツについて、ユーザ属性データベースを用いて、送信すべきユーザたるターゲットユーザを選び出すターゲット演算手段と、

当該送信用コンテンツを当該ターゲットユーザへ送信する送信手段と、

送信用コンテンツを送信したターゲットユーザからの注文を受信する受信手段と、受信した注文に応じるための処理を行う注文処理手段とを備えた情報提供装置。

【請求項2】 受信手段には、ユーザの認証を行うための認証手段を備えた請求項1記載の情報提供装置。

【請求項3】 注文を受信したユーザのクレジット残高を照会する残高照会手段を備えた請求項1または請求項2記載の情報提供装置。

【請求項4】 受信手段が受信したユーザからの注文を注文履歴として記録する注文履歴データベースと、

注文を受信した場合には、その履歴データベースへ注文履歴を追加記録する追記録手段とを備えた請求項1、請求項2または請求項3いずれかに記載の情報提供装置。

【請求項5】 ユーザ毎に送信用コンテンツをストックしておくコンテンツボックスを備え、ユーザが受信したコンテンツには受信した旨を記録することとした請求項1、請求項2、請求項3または請求項4いずれかに記載の情報提供装置。

【請求項6】 サーバシステムから送信されるコンテンツを受信し、受信したコンテンツに対する注文を送信可能な、ユーザが使用する端末装置であって、サーバシステムから送信されるコンテンツを受信する受信手段と、受信内容を表示可能な表示手段と、受信したコンテンツに対する注文内容を入力する注文入力手段と、注文に対する対価の支払いに係るクレジットカードに記録されたカード情報を読み取るカード情報読み取り手段と、カード情報の読み取りを条件に注文内容を送信可能とする送信手段とを備えた情報端末装置。

【請求項7】 表示手段は、カード情報読み取り手段によるカード情報の読み取りを条件に、受信内容を表示可能とした請求項6記載の情報端末装置。

【請求項8】 サーバシステムからコンテンツを受信した場合には、受信を知らせる受信報知手段を備えた請求項6または請求項7のいずれかに記載の情報端末装置。

【請求項9】 ユーザ属性に合わせたコンテンツを送信し、送信したコンテンツに対する注文をユーザから受信して注文を処理する方法であって、コンテンツデータベースの送信用コンテンツについて、ユーザ属性データベ

ースを用いて、送信すべきユーザたるターゲットユーザを選び出すターゲット演算手段と、

当該送信用コンテンツを当該ターゲットユーザへ送信する送信手段と、

送信用コンテンツを送信したターゲットユーザからの注文を受信する受信手段と、受信した注文に応じるための処理を行う注文処理手段とを備えた情報提供方法。

【請求項10】 サーバシステムから送信されるコンテンツを受信し、受信したコンテンツに対する注文を送信可能な情報利用方法であって、

サーバシステムから送信されるコンテンツを受信する受信手段と、受信内容を表示可能な表示手段と、受信したコンテンツに対する注文内容を入力する注文入力手段と、注文に対する対価の支払いに係るクレジットカードに記録されたカード情報を読み取るカード情報読み取り手段と、カード情報の読み取りを条件に注文内容を送信可能とする送信手段とを備えた情報利用方法。

【請求項11】 ユーザ属性に合わせたコンテンツを送信し、送信したコンテンツに対する注文をユーザから受信して注文を処理するコンピュータプログラムを記録した記録媒体であって、コンテンツデータベースの送信用コンテンツについて、ユーザ属性データベースを用いて、送信すべきユーザたるターゲットユーザを選び出すターゲット演算手段と、

当該送信用コンテンツを当該ターゲットユーザへ送信する送信手段と、

送信用コンテンツを送信したターゲットユーザからの注文を受信する受信手段と、受信した注文に応じるための処理を行う注文処理手段とを、コンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項12】 サーバシステムから送信されるコンテンツを受信し、受信したコンテンツに対する注文を送信可能なコンピュータプログラムを記録した記録媒体であって、

サーバシステムから送信されるコンテンツを受信する受信手段と、受信内容を表示可能な表示手段と、受信したコンテンツに対する注文内容を入力する注文入力手段と、注文に対する対価の支払いに係るクレジットカードに記録されたカード情報を読み取るカード情報読み取り手段と、カード情報の読み取りを条件に注文内容を送信可能とする送信手段とを、コンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は、情報を提供するサービス主体とその提供された情報に基づいて商品やサービスを発注するユーザとが、公衆回線を介して通信する場合の技術に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】現在のオンライン受発注のシステムは、概ね以下の通りである。すなわち、インターネットやケーブルテレビなどの通信インフラを介して、サービス主体側のデータベースから同一の商品情報や旅行、飲食店などのサービス情報を、ユーザ全員に対して一斉に送信する。そして、ユーザは、サービス主体に係るコンピュータシステム（サーバシステム）へ接続する際にユーザID、パスワードなどを入力してから送信された情報を閲覧、検索する。所望の商品やサービスがあれば、それを選んで購入の申し込みをする。ユーザがクレジットカードによる商品やサービスを購入しようとする場合、サービス主体によるユーザの個人認証は、ユーザがサーバシステムに接続している通信端末からカードナンバーを入力させることとしていることが多い。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記した技術だけでは、以下のような問題点があった。

（送信される情報利用の不便）商品やサービスについての膨大な情報が、全ユーザに対して一斉に、しかも同一内容にて提供される。しかし、ユーザは、一人一人ニーズが異なる。したがって、提供された情報を利用するユーザは、自分のニーズ、グレードに合った情報を探し当てるのに、時間をかけて検索をしなければならない。しかも、自分に合った商品やサービスについて情報にたどり着けるという保証はない。

（情報の更新把握の問題）ユーザは、サーバシステムにアクセスしなければ、提供されている情報が更新（追加、変更、削除）されているか否か判断できない。しかも、どこが更新されたのかということを知るためには、時間をかけて検索、閲覧をしなければならない。

（ユーザの属性情報）ユーザは、サーバシステムへ接続する際にはユーザID、パスワードなどを入力し、その後は自分のニーズ、グレードに合った情報を探し当てるための検索を行い、最後に商品やサービスの発注という入力をする。これら入力された情報には、ユーザ個人の属性やニーズの傾向を分析するのに有益な情報が含まれているが、サーバシステム側でこれらの情報を有効に利用するための仕組みはできていなかった。

（個人認証）前述したように、ユーザがクレジットカードによる商品やサービスを購入しようとする場合、サーバによるユーザの個人認証は、ユーザがサーバに接続している通信端末からカードナンバーを入力させることとしていることが多い。この際、金融機関のデータベースへ接続して利用限度額を確認する、という仕組みはない。また、カードナンバーのみを入力させるため、情報送信時におけるカードナンバーの流出などによるセキュリティが問題となっていた。

【0004】（発明の目的）本発明の目的は、情報検索が簡単で、ユーザから提供される情報を有効に活用で

き、しかもセキュリティ性能も高い情報通信の技術を提供することにある。ここで、請求項1ないし請求項5記載の発明の目的は、情報検索が簡単で、ユーザから提供される情報を有効に活用できる情報提供装置を提供することである。また、請求項6ないし請求項8記載の発明の目的は、簡単でセキュリティ性能も高い情報端末装置を提供することである。また、請求項9記載の発明の目的は、情報検索が簡単で、ユーザから提供される情報を有効に活用できる情報提供方法を提供することである。また、請求項10記載の発明の目的は、簡単でセキュリティ性能も高い情報利用方法を提供することである。また、請求項11記載の発明の目的は、情報検索が簡単で、ユーザから提供される情報を有効に活用できる情報提供方法のプログラムを記録した記録媒体を提供することである。また、請求項12記載の発明の目的は、簡単でセキュリティ性能も高い情報利用方法のプログラムを記録した記録媒体を提供することである。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記した目的を達成するためのものである。

（請求項1）請求項1記載の発明は、ユーザ属性に合わせたコンテンツを送信し、送信したコンテンツに対する注文をユーザから受信して注文を処理する、情報提供者に備えられる装置である。そして、コンテンツデータベースおよびユーザ属性データベースを備えたサーバ用データベースと、コンテンツデータベースの送信用コンテンツについて、ユーザ属性データベースを用いて、送信すべきユーザたるターゲットユーザを選び出すターゲット演算手段と、当該送信用コンテンツを当該ターゲットユーザへ送信する送信手段と、送信用コンテンツを送信したターゲットユーザからの注文を受信する受信手段と、受信した注文に応じるための処理を行う注文処理手段とを備えた情報提供装置に係る。

【0006】（用語定義）「コンテンツデータベース」とは、コンテンツを集めたデータベースである。コンテンツの提供主体と本サービスの提供者とが一致していることは必須ではない。また、コンテンツを形成する全てのデータを記憶する記憶装置が、必ず情報提供者の手元に必要であることは意図しない。例えば、コンテンツの存在するURLをデータの一部に取り込んで置くことによって、コンテンツを形成するデータの一部は、情報提供者の記憶装置中には存在させないこととしてもよい。「ユーザ属性データベース」とは、ユーザの性別、年齢、職業、趣味、嗜好などに関するデータを記録したデータベースである。通常、ユーザ登録の際に情報提供者側がユーザから取得する。ユーザの嗜好を割り出しやすいデータが多い程良い。例えば、嗜好についてはアンケート形式で取得しておく。「ターゲット演算手段」とは、例えば、コンテンツの内容中からユーザ属性に結びつくキーワードを探り出し、ターゲットユーザを抽出す

る、といった手段である。また、コンテンツ内容につき、売り込みターゲットとするユーザ属性を検索しやすいような決まりを予め設けておくという手段もある。より具体的には、例えば「ネックレス」に関する商品説明のコンテンツにおいて、商品説明文の中に「30代ビジネスウーマン向け」とあったら、年齢30代、職業がOLという二つの条件を備えたユーザをターゲットユーザとすると決定し、ユーザ属性データベースを用いて抽出するという手段である。一方、例えば「高級なカフスポタン」についてのコンテンツがあったとすれば、職業がサラリーマンであり、年収がいくら以上である、といったターゲットユーザの条件を導き出すことができる、高度な手段もある。「注文処理手段」とは、ユーザから注文のあった商品やサービスをユーザへ提供するための手続の一部または全部をいう。送信手段を構成する「送信装置」、受信手段を構成する「受信装置」は、公衆電話回線、専用回線などの通信インフラを用いる。

【0007】（作用）まず、ターゲット演算手段が、ユーザ属性データベースを用いて、ある送信用のコンテンツについて嗜好が合うターゲットユーザを選び出す。そして、送信手段がその送信用コンテンツをそのターゲットユーザへ送信する。ユーザにとっては、自分の嗜好にあったコンテンツが送信されてきている可能性が高いので、検索の手間が低減される。送信されたコンテンツに基づき、情報提供者に対して、注文を送信したとする。するとその注文は受信手段が受信し、注文処理手段が受信した注文に応じるための処理を行う。

【0008】（請求項2）請求項2記載の発明は、請求項1記載の情報提供装置を限定したものであり、受信手段には、ユーザの認証を行うための認証手段を備えた情報提供装置に係る。

【0009】（用語説明）「認証手段」とは、ユーザIDとパスワードとを用いる方式（ソフトウェア方式）が一般的であるが、個体識別が可能な端末装置をユーザに使用してもらうことによって認証するという方式（ハードウェア方式）を採用することもある。

【0010】（作用）受信手段は、ユーザが正規のユーザであるか否かを判断する認証手段を備えているので、正規ユーザが安心して使用できる。

【0011】（請求項3）請求項3記載の発明は、請求項1または請求項2記載の情報提供装置を限定したものであり、注文を受信したユーザのクレジット残高を照会する残高照会手段を備えた情報提供装置に係る。

【0012】（作用）ユーザから注文を受信した場合、残高照会手段が当該ユーザのクレジット残高を照会する。提供者にとっては、売掛金を回収できる見込みを知ることができる。

【0013】（バリエーション）「残高照会手段」は、単にユーザのクレジット残高を照会するだけであるが、その残高に応じて注文処理手段が注文に応じない、とい

った処理をするようなアルゴリズムを備えていることもある。

【0014】（請求項4）請求項4記載の発明は、請求項1、請求項2または請求項3いずれかに記載の情報提供装置を限定したものであり、受信手段が受信したユーザからの注文を注文履歴として記録する注文履歴データベースと、注文を受信した場合には、その履歴データベースへ注文履歴を追加記録する追記録手段とを備えた情報提供装置に係る。

【0015】（作用）受信手段が受信したユーザからの注文を受信したら、注文履歴データベースが当該注文を当該ユーザの注文履歴として記録する。また、次に当該ユーザから注文を受信したら、追記録手段が前記履歴データベースへ注文履歴を追加記録する。履歴データベースが充実してゆけば、ユーザがどのような嗜好であるかを分析するデータとして役立つ。

【0016】（請求項5）請求項5記載の発明は、請求項1、請求項2、請求項3または請求項4いずれかに記載の情報提供装置を限定したものであり、ユーザ毎に送信用コンテンツをストックしておくコンテンツボックスを備え、ユーザが受信したコンテンツには受信した旨を記録することとした情報提供装置に係る。

【0017】（作用）送信用コンテンツは、ユーザ毎にコンテンツボックスへストックされる。ユーザが受信したコンテンツには受信した旨が記録される。したがって、ユーザは、受信した旨が記録されていないコンテンツを閲覧することとしておけば、最新の情報に素早くアクセスできることとなる。

【0018】（バリエーション）ユーザが受信した結果を記録する受信履歴データベースと、送信用コンテンツの変更があった場合に、前記受信履歴データベースの記録と照らし、ユーザが受信していないコンテンツを抽出する未受信コンテンツ抽出手段とを備え、送信手段は、未受信コンテンツ抽出手段が抽出したコンテンツを送信することとしてもよい。

【0019】（請求項6）請求項6記載の発明は、サーバシステムから送信されるコンテンツを受信し、受信したコンテンツに対する注文を送信可能な、ユーザが使用する端末装置であって、サーバシステムから送信されるコンテンツを受信する受信手段と、受信内容を表示可能な表示手段と、受信したコンテンツに対する注文内容を入力する注文入力手段と、注文に対する対価の支払いに係るクレジットカードに記録されたカード情報を読み取るカード情報読み取り手段と、カード情報の読み取りを条件に注文内容を送信可能とする送信手段とを備えた情報端末装置に係る。この情報端末装置は、携帯が可能なサイズであることが望ましい。「クレジットカード」は、いわゆるデビットカードでもよい。

【0020】（作用）まず、受信手段がサーバシステムから送信されるコンテンツを受信する。そしてそのコン

テンツを表示手段が表示する。ユーザは、表示手段によって表示されるコンテンツを見た後、注文入力手段を用いてコンテンツに対する注文内容を入力する。また、ユーザは、カード情報読み取り手段を用いて、注文に対する対価の支払いに係るクレジットカードに記録されたカード情報を読み取らせる。カード情報の読み取りを条件に作動する送信手段が、前記注文内容を送信する。提供者およびユーザにとっては、情報端末装置とクレジットカードとが揃わなければ注文をすることができないので、不正使用される可能性が少なくなる。

【0021】(バリエーション) 送信手段は、カード情報の読み取りを条件に注文内容を送信可能とする、としたが、情報端末装置の全体が、カード情報の読み取りを条件に操作可能とすることもできる。

【0022】(請求項7) 請求項7記載の発明は、請求項6記載の情報端末装置を限定したものであり、表示手段は、カード情報読み取り手段によるカード情報の読み取りを条件に、受信内容を表示可能とした情報端末装置に係る。

【0023】(作用) ユーザが受信したコンテンツを表示させたい場合には、カード情報読み取り手段を用いてクレジットカードのカード情報を読み取らせる。すると、表示手段が受信内容を表示させることができる。提供者およびユーザにとっては、情報端末装置とクレジットカードとが揃わなければ受信内容を表示させることができないので、不正使用される可能性が少なくなる。

【0024】(請求項8) 請求項8記載の発明は、請求項7または請求項8いずれかに記載の情報端末装置を限定したものであり、サーバシステムからコンテンツを受信した場合には、受信を知らせる受信報知手段を備えた情報端末装置に係る。

【0025】(用語説明) 「受信報知手段」とは、いわゆるウォーニング機構であり、光、音、振動など、ユーザの五感を刺激することによってその目的を達成する。

【0026】(作用) 受信放置手段がサーバシステムからコンテンツを受信した場合には受信を知らせてくれるので、ユーザにとっては遅れずに提供された情報を見ることができ、提供者にとってはタイムリーに情報へ触れもらえる。

【0027】(請求項9) 請求項9記載の発明は、ユーザ属性に合わせたコンテンツを送信し、送信したコンテンツに対する注文をユーザから受信して注文を処理する方法である。即ち、コンテンツデータベースの送信用コンテンツについて、ユーザ属性データベースを用いて、送信すべきユーザたるターゲットユーザを選び出すターゲット演算手順と、当該送信用コンテンツを当該ターゲットユーザへ送信する送信手順と、送信用コンテンツを送信したターゲットユーザからの注文を受信する受信手順と、受信した注文に応じるための処理を行う注文処理手順とを備えた情報提供方法に係る。

【0028】(請求項10) 請求項10記載の発明は、サーバシステムから送信されるコンテンツを受信し、受信したコンテンツに対する注文を送信可能な情報利用方法である。即ち、サーバシステムから送信されるコンテンツを受信する受信手順と、受信内容を表示可能な表示手順と、受信したコンテンツに対する注文内容を入力する注文入力手順と、注文に対する対価の支払いに係るクレジットカードに記録されたカード情報を読み取るカード情報読み取り手順と、カード情報の読み取りを条件に注文内容を送信可能とする送信手順とを備えた情報利用方法に係る。

【0029】(請求項11) 請求項11記載の発明は、ユーザ属性に合わせたコンテンツを送信し、送信したコンテンツに対する注文をユーザから受信して注文を処理するコンピュータプログラムを記録した記録媒体に係る発明である。そのコンピュータプログラムは、コンテンツデータベースの送信用コンテンツについて、ユーザ属性データベースを用いて、送信すべきユーザたるターゲットユーザを選び出すターゲット演算手順と、当該送信用コンテンツを当該ターゲットユーザへ送信する送信手順と、送信用コンテンツを送信したターゲットユーザからの注文を受信する受信手順と、受信した注文に応じるための処理を行う注文処理手順とを含む。

【0030】ここで「記録媒体」とは、プログラムを定着させることができる媒体であって、たとえばフロッピーディスク、CD-ROM、光磁気ディスク、ハードディスクなどである。

【0031】(請求項12) 請求項12記載の発明は、サーバシステムから送信されるコンテンツを受信し、受信したコンテンツに対する注文を送信可能なコンピュータプログラムを記録した記録媒体に係る発明である。そのコンピュータプログラムは、サーバシステムから送信されるコンテンツを受信する受信手順と、受信内容を表示可能な表示手順と、受信したコンテンツに対する注文内容を入力する注文入力手順と、注文に対する対価の支払いに係るクレジットカードに記録されたカード情報を読み取るカード情報読み取り手順と、カード情報の読み取りを条件に注文内容を送信可能とする送信手順とを含む。

【0032】

【発明の実施の形態】以下、本発明を実施の形態及び図面に基づいて、更に詳しく説明する。図1は、本発明の実施形態を示す概念図である。図2は、本発明の実施形態に係る情報端末装置の概略図である。

【0033】(全体概念) 図1に示すように、本実施形態は、情報提供者およびその情報提供者に対してユーザ登録したユーザとの間で用いられる情報授受のシステムである。また、情報提供者への対価の支払いを行うための銀行との間でも、情報および金銭の授受がある。

【0034】(サーバシステム) 情報提供者には、ユー

ザ属性に合わせたコンテンツを送信し、送信したコンテンツに対する注文をユーザから受信して注文を処理する、情報提供者に備えられる装置を備えている。その装置とは、ユーザ属性データベースを備えたサーバ用データベースと、コンテンツデータベースの送信用コンテンツについて、ユーザ属性データベースを用いて、送信すべきユーザたるターゲットユーザを選び出すターゲット演算手段と、当該送信用コンテンツを当該ターゲットユーザへ送信する送信手段と、送信用コンテンツを送信したターゲットユーザからの注文を受信する受信手段と、受信した注文に応じるための処理を行う注文処理手段とを備えた情報提供装置である。また、注文を受信したユーザのクレジット残高を照会する残高照会手段と、受信手段が受信したユーザからの注文を注文履歴として記録する注文履歴データベースと、注文を受信した場合には、その履歴データベースへ注文履歴を追加記録する追記録手段とを備えている。更に、ユーザ毎に送信用コンテンツをストックしておくコンテンツボックスを備え、ユーザが受信したコンテンツには受信した旨を記録することとしている。

【0035】「コンテンツデータベース」とは、コンテンツを集めたデータベースである。コンテンツとは、商品やサービスの案内が中心である。この実施形態では、コンテンツの提供主体である商品・サービス提供者とこの情報提供サービスの提供者とは一致していないが、一致していてもよい。また、その場合に、情報提供者がコンテンツデータベースを備えている構成とすることもできる。「ユーザ属性データベース」とは、ユーザの性別、年齢、職業、趣味、嗜好などに関するデータを記録したデータベースであり、ユーザ登録の際に情報提供者側がユーザから取得することとしている。また、後述する「注文履歴データベース」は、ユーザごとに作成するので、この「ユーザ属性データベース」の一部として形成することもできる。「ターゲット演算手段」とは、コンテンツの内容中からユーザ属性に結びつくキーワードを探り出し、ターゲットユーザを抽出する、といった手段である。コンテンツ内容につき、売り込みターゲットとするユーザ属性を検索しやすいような決まりを予め設けてある。「注文処理手段」とは、ユーザから注文のあった商品やサービスをユーザへ提供するための手続の一部または全部をいう。この実施形態にあつては、商品の注文を受けてから商品の発注までを行っている。「受信手段」には、ユーザの認証を行うための認証手段を備えている。これは、後述する「ページャ」を個体識別が可能な端末装置としており、その個体識別の機能を用いる。「残高照会手段」は、単にユーザのクレジット残高を照会し、その残高に応じて注文処理手段が注文に応じない、といった処理をするようなアルゴリズムを備えている。

【0036】（ユーザ側の端末装置）ユーザは、情報提

供者からページャと呼ばれる携帯が可能な小型の情報端末装置を提供され、それを用いてサーバシステムから送信されるコンテンツを受信し、受信したコンテンツに対する注文を送信する。その情報端末装置は、サーバシステムから送信されるコンテンツを受信する受信手段と、受信内容を表示可能な表示手段と、受信したコンテンツに対する注文内容を入力する注文入力手段と、注文に対する対価の支払いに係るクレジットカードに記録されたカード情報を読み取るカード情報読み取り手段と、カード情報の読み取りを条件に注文内容を送信可能とする送信手段と、サーバシステムからコンテンツを受信した場合には、受信を知らせる受信報知手段とを備える。図2とともに、更に詳しく説明する。

【0037】「表示手段」とは、図2中では「液晶表示部」としている。この液晶画面に、送信されたコンテンツを表示する。「注文入力手段」とは、液晶表示部の一部であつて、「ペン入力表示部」として示している。入力が不要な場面ではコンテンツの表示に用いられる。なお、クレジットカードの暗証番号を入力しないと、注文を受け付けられないようなアルゴリズムをチップ化して備えていてもよい。「送信手段」および「受信手段」とは、図2中「モデム接続ジャック」として示した箇所の他、ページャ内部に内蔵されているモデム装置である。なお、モデム接続ジャックは、アダプターを介在させれば、携帯電話、PHSなどにも接続可能である。「受信手段」には、ユーザが正規のユーザであるか否か、具体的にはページャの個体識別のための番号などを判断する認証手段を備えており、正規ユーザが安心して使用できるようにしてある。「受信報知手段」とは、図2中「プリンキング装置」として示したものであり、点滅光によってコンテンツの受信をユーザに知らせる。「カード情報読み取り手段」とは、図2中「クレジットカードスキニング装置」としており、クレジットカードの磁気記録部分をスキニングする。スキニングすると、そのクレジットカードに記載された各種のデータ（例えば、所有者の氏名、生年月日、引き落とし銀行名など）が、ページャ内部の記録装置に記録される。そして、以後、当該クレジットカードをスキニングしない限り受信手段も送信手段も使用することができないようにしてある。

【0038】（作用）予め、ユーザは、情報提供者に対してユーザ登録を行う。その際、氏名、年齢、性別、職業、趣味、および利用代金の引き落としを行うためのクレジットカード情報などを登録する。登録に係る情報は、情報提供者に係るユーザ属性データベースへ記録される。その登録と引き替えに、情報提供者からユーザへ情報端末装置（ページャ）が送られる。そのページャに対して、ユーザは、登録に係るクレジットカードをスキニングしておく。

【0039】次に、ターゲット演算手段が、ユーザ属性

データベースおよび注文履歴データベースを用いて、ある送信用のコンテンツについて嗜好が合うターゲットユーザを選び出す。そして、送信手段がその送信用コンテンツをそのターゲットユーザへ送信する。送信用コンテンツは、ユーザごとに設けられたコンテンツボックスへ置かれる。なお、新しい送信用コンテンツがコンテンツボックスに届くと、ユーザの手元においてプリンキング装置が作動する。このため、ユーザにとっては遅れずに提供された情報を見ることができ、提供者にとってはタイムリーに情報へ触れてもらえる。

【0040】コンテンツボックスのコンテンツを受信したいというユーザは、カード情報読み取り手段にてクレジットカードをスキニングすると、情報端末装置が受信可能となる。提供者およびユーザにとっては、情報端末装置とクレジットカードとが揃わなければ何もできないので、不正使用される可能性が少なくなり、安心して利用できる。

【0041】次いで、コンテンツボックスからコンテンツを受信する。このとき、コンテンツボックスでは、当該コンテンツが受信済みである旨を記録する。受信したコンテンツは、表示手段たる液晶へ表示される。ユーザにとっては、自分の嗜好にあったコンテンツが送信されてきている可能性が高いので、検索の手間が低減される。そして、注文入力手段によって、受信したコンテンツによって紹介されていた商品を注文する旨の入力を行う。なお、注文の確認と不正使用防止の見地から、クレジットカードの暗証番号を入力させることとしているが、その暗証番号は、ユーザからの送信の対象とせず、セキュリティを向上させている。

【0042】ユーザによる入力内容は、送信手段によって送信され、情報提供者の受信手段が受信する。そして、注文処理手段によって、注文された商品の発注を行う。この際、注文履歴データベースへ、注文履歴の記録を追加する。履歴データベースが充実してゆけば、ユーザがどのような嗜好であるかを分析するデータとして役立つ。なお、注文に係る商品やサービスが高額である場合などは、注文処理手段の中に設けた残高照会機能によって、ユーザの銀行の残高を照会する。

【0043】(プログラム) 上述してきた発明の実施形態は、情報提供者またはユーザに係るコンピュータシステムに対して、プログラムをインストールすれば、達成できる。その情報提供者のプログラムとは、コンテンツデータベースの送信用コンテンツについて、ユーザ属性データベースを用いて、送信すべきユーザたるターゲットユーザを選び出すターゲット演算手順と、当該送信用コンテンツを当該ターゲットユーザへ送信する送信手順と、送信用コンテンツを送信したターゲットユーザからの注文を受信する受信手順と、受信した注文に応じるための処理を行う注文処理手順とを含むプログラムである。また、ユーザ側のコンピュータプログラムは、サー

バシステムから送信されるコンテンツを受信する受信手順と、受信内容を表示可能な表示手順と、受信したコンテンツに対する注文内容を入力する注文入力手順と、注文に対する対価の支払いに係るクレジットカードに記録されたカード情報を読み取るカード情報読み取り手順と、カード情報の読み取りを条件に注文内容を送信可能とする送信手順とを含むプログラムである。いずれのプログラムも記録媒体によって運搬できる。また、送信手段を介して送信することもできる。

【0044】なお、上記した説明では、ターゲット演算手段により、ユーザ属性データベースおよび注文履歴データベースを用いて、ある送信用のコンテンツについて嗜好が合うターゲットユーザを選び出す構成であるが、逆に、図3に示したように、あるユーザから指示を受けた際に、当該ユーザのユーザ属性から、ターゲットとするコンテンツを選び出すという手段を採用することもできる。また、上記した情報端末装置は、クレジットカード(磁気カード、ICカード、LSIカード等)に記録された種々のIDのほか、本人確認のための暗証番号等を入力して初めて動作可能となるものであり、また、サーバ側においてもこれらのIDを検証するシステムを有している。このため、第三者に不正使用される可能性は非常に小さく、セキュリティ性に優れている。従って、上記した情報端末装置を利用して、高いセキュリティレベルが要求される銀行や証券会社等の金融機関への預け入れや引き出し等の金融取引、あるいは、為替相場の変動データの入手作業等に用いることにも適している。

【0045】

【発明の効果】請求項1ないし請求項5記載の発明によれば、情報検索が簡単で、ユーザから提供される情報を有効に活用できる情報提供装置を提供することができた。また、請求項6ないし請求項8記載の発明によれば、簡単でセキュリティ性能も高い情報端末装置を提供することができた。また、請求項9記載の発明によれば、情報検索が簡単で、ユーザから提供される情報を有効に活用できる情報提供方法を提供することができた。また、請求項10記載の発明によれば、簡単でセキュリティ性能も高い情報利用方法を提供することができた。また、請求項11記載の発明によれば、情報検索が簡単で、ユーザから提供される情報を有効に活用できる情報提供方法のプログラムを記録した記録媒体を提供することができた。また、請求項12記載の発明によれば、簡単でセキュリティ性能も高い情報利用方法のプログラムを記録した記録媒体を提供することができた。

【図面の簡単な説明】

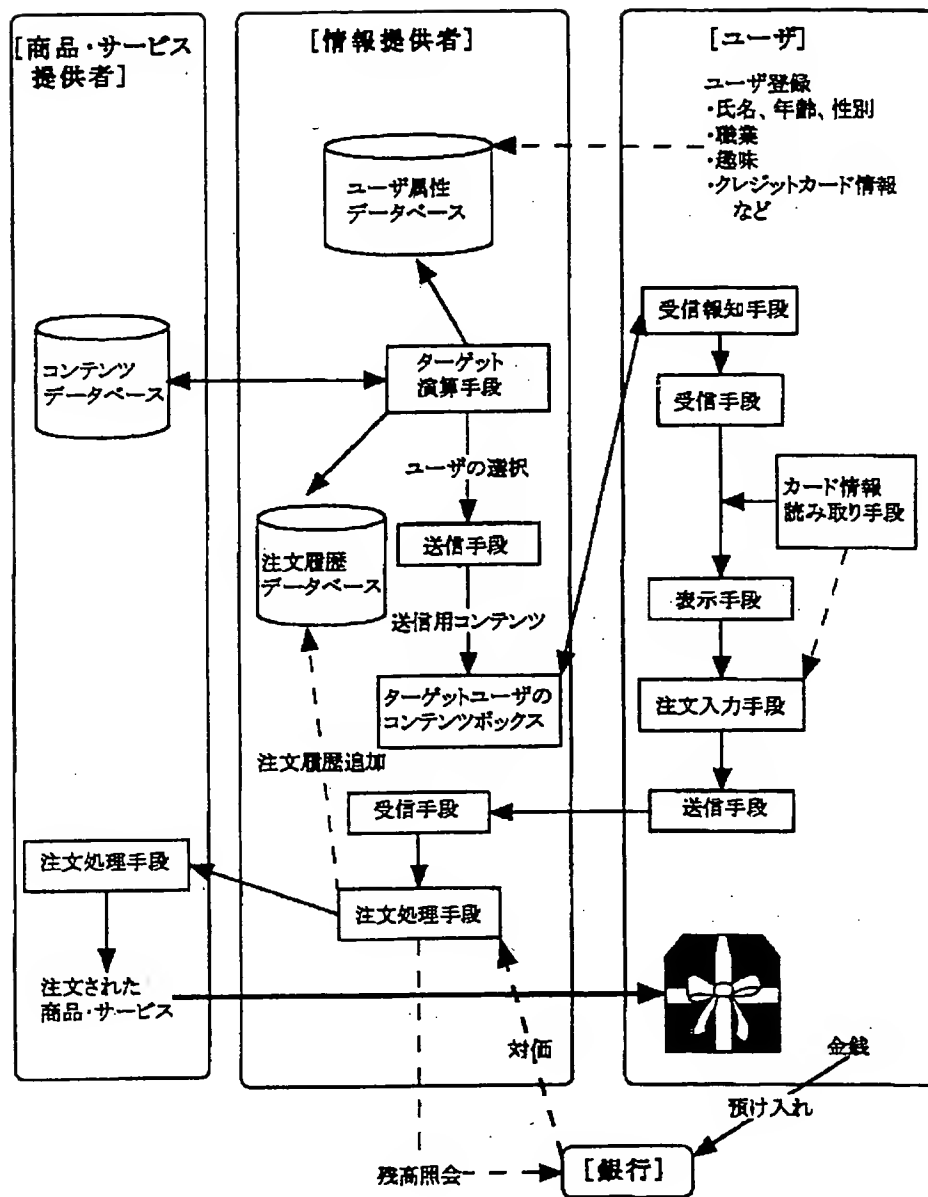
【図1】本発明の実施形態を示す概念図である。

【図2】本発明の実施形態に係る情報端末装置の概略図である。

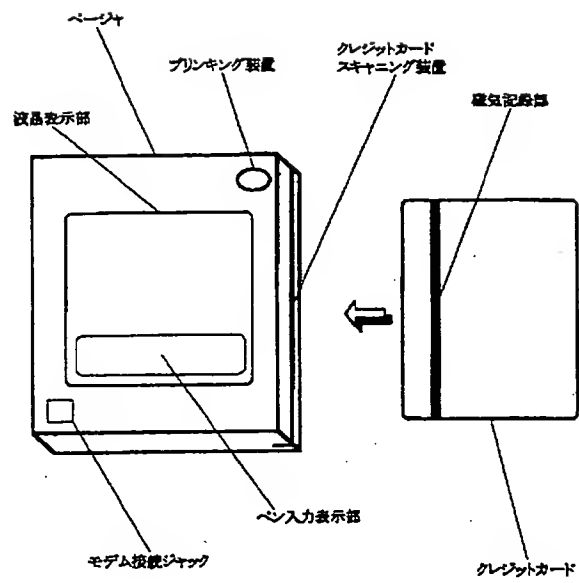
【図3】本発明の応用例を示す概念図である。



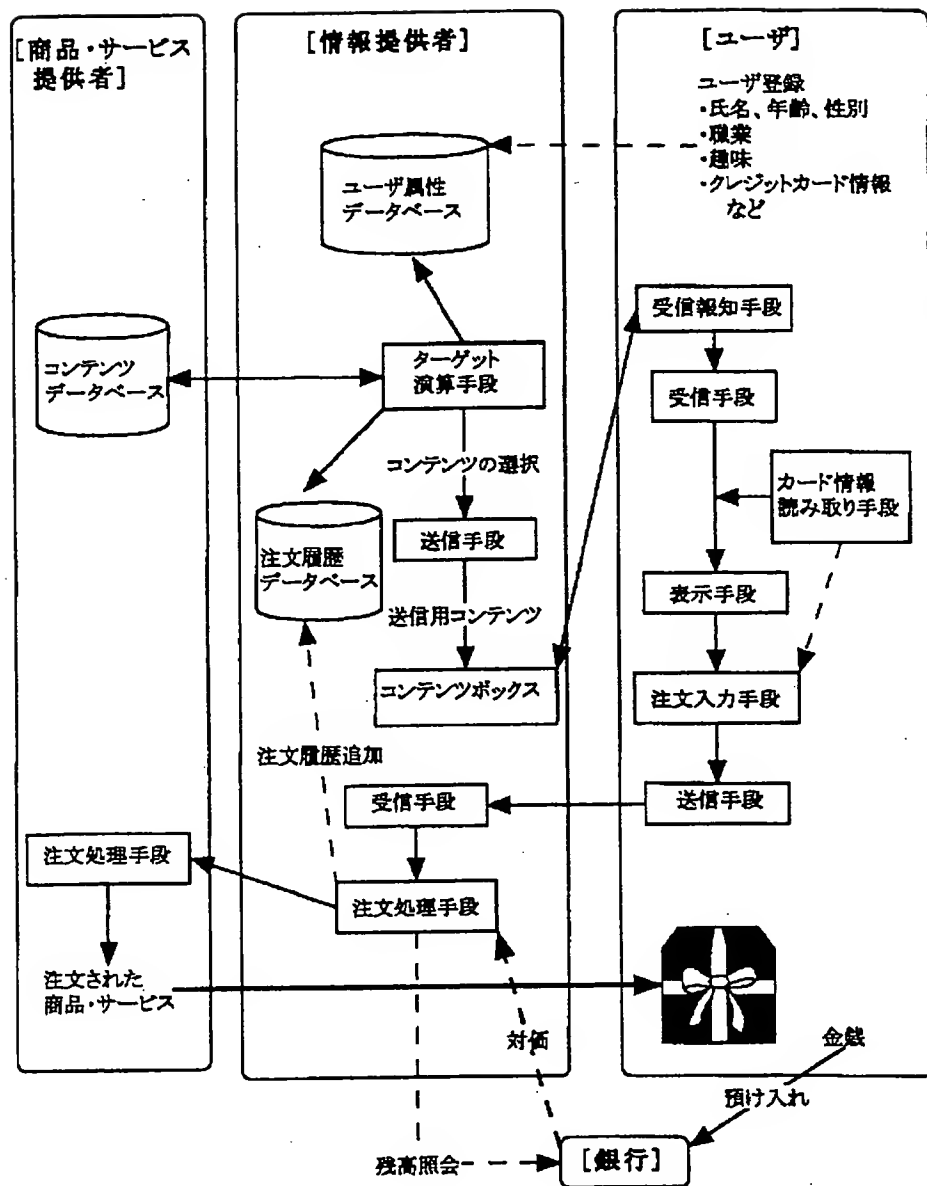
【図1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.7

識別記号

FI  
G 0 6 F 15/403

テレポート\*(参考)

3 4 0 A